

2. 不織布の分類

不織布の製法 (その特徴と主用途)

	[製法]	[特徴]	[主用途]	
製造プロセス	湿式不織布 ・繊維とパルプ又は接着繊維を抄紙方式でシートにする。 ・ケミカルボンド ・サーマルボンド ・スパンレース	・繊維とパルプ又は接着繊維を抄紙方式でシートにする。 ・接着剤で結合 ・自己接着または接着繊維で結合 ・高圧水流で交絡	・厚み均斉で目付を自由に変えることができるが、比較的低目付が多い。	・ワイパー、おしぼり、おむつ、フィルター、ティーパック、特殊繊維シート等
	乾式パルプ不織布 ・ケミカルボンド ・サーマルボンド	・粉碎パルプを、接着剤又は接着繊維で接着する。 ・接着剤を散布してパルプを結合 ・接着繊維を混合してパルプを結合	・嵩高で、ドレープ性に富む。	・おしぼり、キッチンワイプ、生理用吸収材、化粧用パフ、花、青果の緩衝包装材料等
	乾式不織布 ・ケミカルボンド ・サーマルボンド ・スパンレース ・ニードルパンチ ・ステッチボンド	・繊維をカード方式などでシートにする。 ・繊維ウェブを接着剤で結合。 ・自己接着または接着繊維で結合。 ・高圧水流で繊維を交絡。 ・特殊針でウェブをニードリングして交絡。 ・ウェブが、ほぐれないよう糸で絡み込む。	・柔軟性とドレープ性に富む。 ・接着剤を使用しないため衛生的。 ・柔軟でドレープ性に富み、毛羽立ちしない。 ・バルク性に富み、繊維間の別離がない。 ・バルク性に富む。	・芯地、コーティング用蓋布、カーペット基材、工業資材等 ・おむつ、生理用ナプキン、特殊工業資材等 ・おむつ、医療、芯地、生活関連、コーティング基材、ワイパー等 ・床材、フィルター、コーティング基布、自動車用内装材、土木用途等
	スパンボンド式不織布	・紡糸直結で、主に自己接着で結合。	・用途に向けた設計が可能。	・包材、おむつ、土木用途、建築防水、フィルター、芯地、壁紙材、カーペット基材、コーティング/ラミネート基材等
	メルトブロー式不織布	・ポリマーを高圧で押し出すと共に熱風でふきとばした極細繊維シート。	・柔軟性、非透過性、絶縁性に富む。 ・0.01μmまでの極細繊維の生産可能。	・フィルター、バッテリーセパレーター、吸水シート、ワイパー、油吸着材、紙おむつ等
	フラッシュ紡糸式不織布	・ポリマーを高熱で熔融し高圧で紡糸。	・強度が強い。	・封筒、ハウストラップ、野外テント、イベントジャンパー等
	トウ開繊式不織布 他	・紡糸後のトウを開繊・積層・圧着。	・トウ開繊法・バーストファイバー法 及び積層圧着法の組み合わせ。	・テープ基材、農業資材、園芸資材、自動車用資材等